

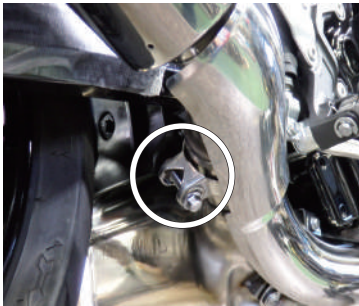
<商品内容> ※サイズの単位:mm

① POWER BOX マフラー (一体型) ×1	③ フランジナット(M6) ×1
② 六角フランジボルト(M6×12) ×1	④ サブステー ×1

<取付所要時間の目安>
約20分

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状、仕上げなどが一部異なる場合があります。
 ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
 ※ 本製品にはサイレンサーガスケットは付属しておりません。再使用、もしくは車種専用サイズの物に交換して下さい。
 ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
 ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って作業される事をお勧めします。

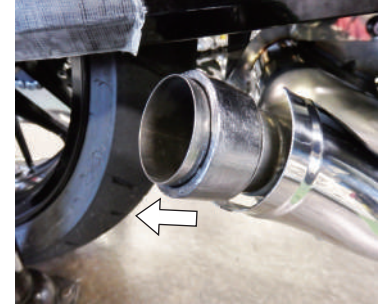
1 純正サイレンサーボディーを取り外します。



サイレンサーボディーとエキゾーストパイプとの接合部のバンドを緩め、ボルトを抜き取ります。



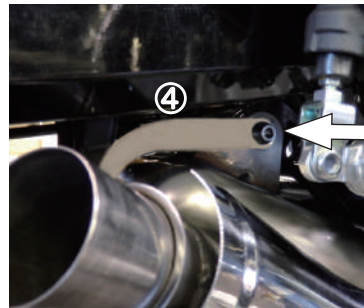
サイレンサー上部を固定しているボルトを取り外し、車体に傷をつけない様にサイレンサーボディーをゆっくりと上下左右に揺すりながら引き抜きます。固定用のボルト、ナットは後で再使用します。



エキゾーストパイプ側にガスケットが残っていたら抜き取っておきます。(後で再使用します。)



ガスケットが純正サイレンサー側に残ってしまった場合にはガスケットをゆっくりと丁寧に抜き取り、再使用します。
 ※ガスケットが固着していて取り外しが困難な時、形が崩れて再使用が難しい時には新品の純正ガスケットをお買い求め下さい。



付属のサブステー④を先に組み付けておきます。車体下の純正マフラーを固定しているボルトを一旦抜き取り、付属のサブステー④を挟みこんで再び仮止めしておきます。

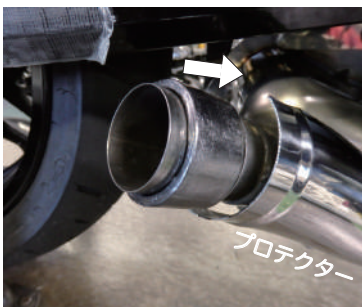


ボルトの抜き差しが困難な場合には、マフラーのエンジン差込部・フランジのナット8ヶ所をマフラー全体がカクカクと少し動く程度にまで緩めると作業し易くなります。(緩めた後の本締めに忘れずに!)



マフラー単体で見た、サブステー④の取り付けイメージ

2 POWER BOX マフラーを組み込みます。



サイレンサーガスケットをエキゾーストパイプ側の差し込み部に一番奥の突き当たる所まではめ込みます。(純正サイレンサーに使用の時と同じ向きです。)スムーズに入り難い場合にはグリスを塗って滑りをよくする等の工夫をしてみてください。



パワーボックスマフラーを仮組みします。写真の様に最初はボックスを下に向けながら差し込み、回転させる様にして組んで行きます。サイレンサーガスケットを傷めない様に慎重にゆっくりと差し込んで下さい。(写真の様に純正のプロテクターを外しておく、差し込み部のスペースに余裕ができます。)



サイレンサー上部のステーを車体に仮止めします。取り付けのボルト類は純正サイレンサーに使用していたものを再使用します。



車輛の個体差や転倒歴によるズレ等によってボルト穴を合わせ難い場合には、タンデムステップを固定しているボルトを一旦緩めながら穴位置を合わせて下さい。(緩めた後の本締めを忘れずに!)



ボックス部分をサブステーに固定します。付属のボルト②、ナット③を使用します。



パワーボックス マフラーと純正プロテクターがわずかに重なり合う位置にすると取り付け状態の見栄えがよくなります。(パワーボックス マフラーがプロテクターの内側にわずかに入る状態です。)



チェーンの調整、メンテナンスは日頃から適切に行ないましょう



仮組みの状態、サイレンサー内側とスイングアーム、またPOWER BOX とチェーンとの隙間を良く確認して下さい。転倒歴のある車輛、サスペンションの交換等によって車高が変化している車輛、スプロケットの大きさを変えている車輛などにおいては隙間が少なくなる、もしくは干渉する可能性がありますので特に注意が必要です。隙間を確保できない場合には修理、または純正仕様に戻す事によって対処して下さい。また、空車時と乗車時ではスイングアームの角度が変化します。念のため車体に跨がり、荷重を掛けた乗車状態でも各部のクリアランスを確認して下さい。

3 本締めを行ないます。



各部のクリアランスや取付状態を再度確認し、調整しながら仮組みしていた箇所全てを本締めします。

サイレンサーに付着した汚れや油分をパーツクリーナー(脱脂剤)でしっかりと拭き取って下さい。汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

4 エンジンを始動し、排気漏れがなく、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了となります。

- ※ マフラー装着完了後も、取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後は、しばらくの間マフラー内部に残った油分により、白煙や臭いが発生する場合がありますが、数日で解消されます。
- ※ 製品によっては、サイレンサーやマフラー本体に小さな穴を空けている事があります。これは水抜き用に設けられた穴ですので、特に問題はございません。
- ※ 本製品はエンジン性能を優先した構造のサイレンサーを採用しております。
製品の構造上使用状況によってアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ マフラー交換後、ご使用中に若干の排気漏れや水滴がたれてくる事があります。
この事は性能に大きな影響を及ぼす様な異常とはなりません、接合部に市販の液体ガスケットを塗って再度組み付けると収まります。

※【グラス・ウールは消耗品です!】

マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。

使用距離: 10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材(=グラス・ウール)の交換をお勧め致します。(詳細は弊社までお問い合わせ下さい。)

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。